

富家玉藻子 たまひら 俳人。明治三十年五月十八日香川縣綾歌郡林田村生れ、昭和十年六月二十五日歿（一八九七—一九三五）。本名一一。大正八年神戸高等商業學校卒。三菱商事株式會社入社。翌年大連出張所に轉勤して在滿十五年、急性肺炎に罹り歿す。俳句は入社時に始まり、俳誌『ホトトギス』に投稿して高濱虚子の選に入る専らとなり、在滿俳壇では師匠格を成したといふ。

遺稿『玉藻子名句選』（葛川芳久校編、昭和十一年七月二十五日香川

・富家友太郎刊）には、大連の『正宗』誌所載諸家追悼文を附す。

